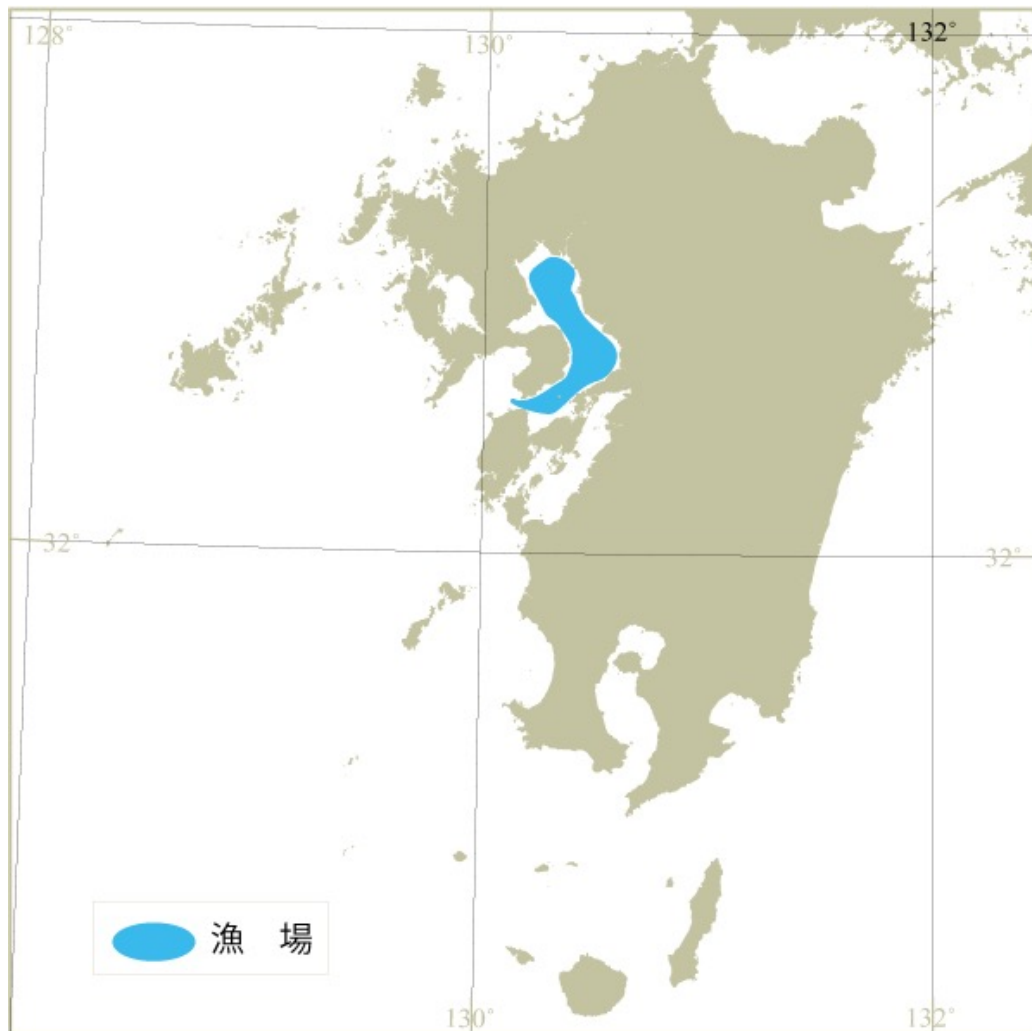




# ガザミ有明海 令和5年度資源評価結果

# 生物学的特性

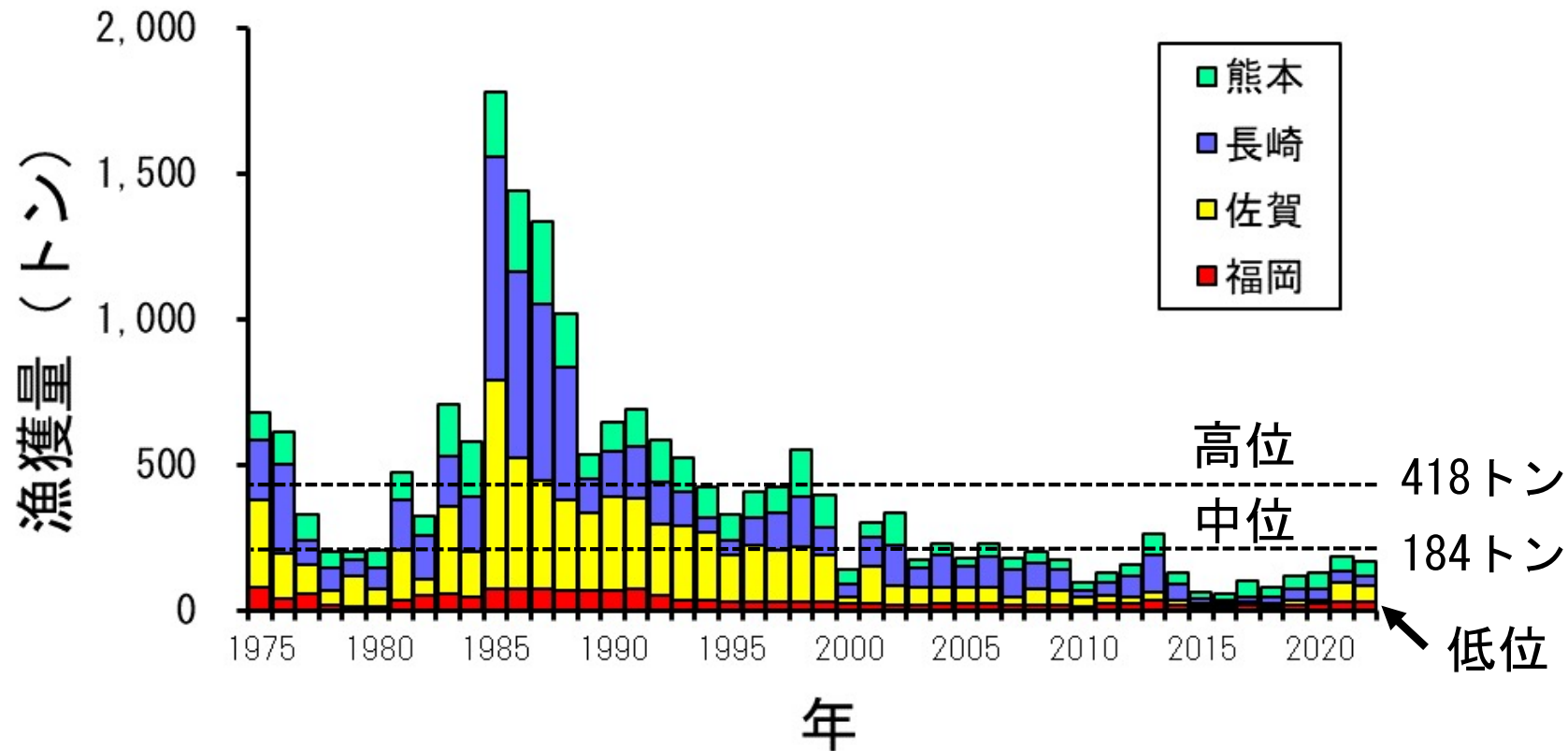


## 生物学的特性

- 寿命：2～3年
- 成熟開始年齢：1歳未満
- 産卵期・産卵場：  
4～9月（有明海の湾央部～湾奥部）
- 食性：  
甲殻類、多毛類、貝類など
- 捕食者：不明

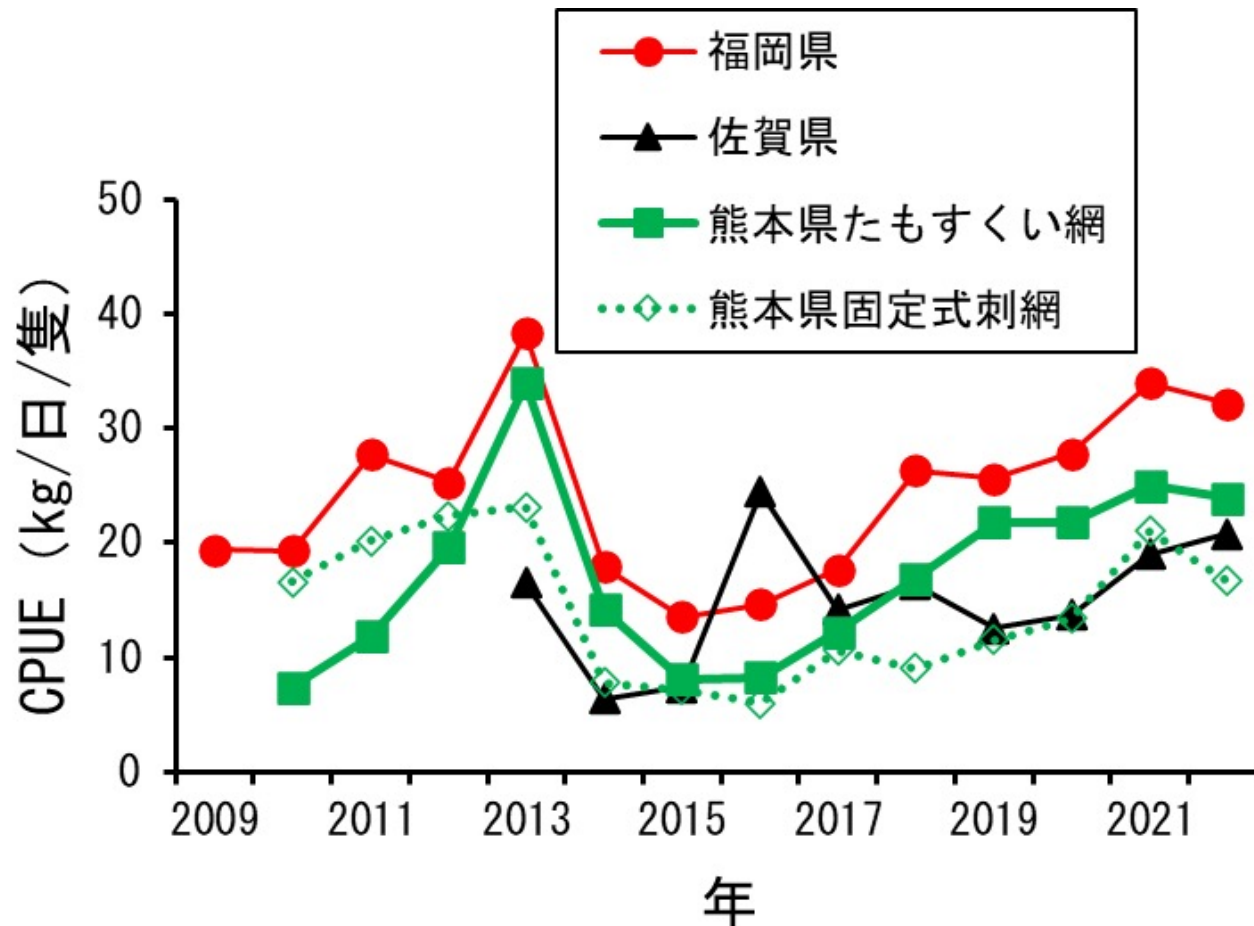
- 漁場は有明海全域
- 主漁法はカゴ、固定式刺網、たもすくい網、小型底びき網

# 漁獲の動向①



- 4県の合計漁獲量は、1985年の最大値1,781トンから2000年の142トンにまで急減し、2022年には170トン（福岡31トン、佐賀58トン、長崎34トン、熊本48トン）となっている
- 4県合計と県別の漁獲量を、三分位数によって三分割すると、2022年の4県合計漁獲量は低位、県別漁獲量は低位（長崎）または中位（福岡、佐賀、熊本）に相当する

## 漁獲の動向②



- 2009～2022年の各県・漁業種のCPUE（操業1日・1隻あたりの漁獲量）は、6～38（kg/日/隻）の範囲で増減を反復
- 2022年のCPUEは17～32（kg/日/隻）で、各県・漁業種の直近5年間（2018～2022年）の回帰直線の傾きはすべてプラスであった

# 資源評価のまとめ

- 1975～2022年の各年の漁獲量を三分位数で分別した結果、2022年の4県合計または県別の漁獲量は低位または中位に相当した
- 直近5年間（2018～2022年）の各県・各漁業種のCPUEは上昇傾向にあった
- 以上の漁獲量とCPUEの年変動から、2022年の有明海のガザミ資源は、低位または中位水準で増加傾向にあると考えられた。ただしこの傾向は、標準化CPUEなどの、より厳密な資源量指標によって再検証する必要がある